

# 令和5年度事業報告

自 令和5年4月1日

至 令和6年3月31日

## 1. 会 員

会員状況（令和6年3月31日現在）は、次のとおりである。

会員種別	既往数	入会数	退会数	計
正会員	4,426	362	418	4,370
特別会員	1,572	7	6	1,573
名誉会員	34	3	3	34
計	6,032	372	427	5,977

## 2. 会議の開催

（以下、敬称略）

### 1) 第77回定時総会

令和5年6月15日、東京都千代田区「全社協・灘尾ホール」で開催、議決権のある当協会の会員総数6,032名のうち出席会員数(委任状による者を含む。)3,651名が出席、「令和4年度事業報告」、「令和4年度決算」を承認し、「理事の選任」、「名誉会長の選任」を行い、各候補者全員が選任された。その後、「令和5年度事業計画書」、「令和5年度収支予算書」及び「令和5年度資金調達及び設備投資の見込み」について報告が行われた。

選任された理事は次のとおりである。

### 理 事

石川 雄一	伊藤 正秀	井上 剛志	江坂 行弘
大串 葉子	小幡 学	川畑 篤敬	國澤 典生
久保田 尚	黒川 修治	千葉 衛	徳山 日出男
中島 高志	中西 隆夫	中村 哲己	永田 順宏
野田 勝	羽藤 英二	松谷 春敏	吉田 光市

（計20名）

なお、任期中の理事及び監事は次のとおりである。

理 事

石井直孝	石原康弘	今泉保彦	上松英司
風間優	近藤清久	柴田年輝	高橋知道
寺山徹	中神陽一	中島一	長尾哲
西田義則	原口耕治	深澤淳志	森拓也
森昌文	吉川芳和		

(計18名)

監 事

平井尚	増田博行
-----	------

(計2名)

## 2) 理 事 会

- (1) 第222回理事会を令和5年5月22日、東京都千代田区「日本道路協会会議室」で開催、理事39名のうち28名、及び監事2名が出席し、「令和4年度事業報告」、「令和4年度決算」、「理事の選任」、「名誉会長及び名誉会員の推薦」、「顧問の委嘱」、及び「第77回定時総会の招集の決定」について原案のとおり議決した。

顧 問

足立敏之	荒川光弘	飯田恭敬	家田仁
池田豊人	石井啓一	石井正弘	石田東生
板倉英則	市川一朗	井上信治	井林辰憲
上野公成	太田昭宏	奥田楯彦	奥野晴彦
小野邦久	河崎広二	川嶋弘尚	木下博夫
沓掛哲男	黒川弘	黒田憲司	小池正勝
古賀一成	近藤茂夫	榊正剛	佐々木基
佐藤信秋	柴崎亮介	陣内孝雄	竹本直一
谷脇暁	西脇隆俊	根本匠	根本敏則
畑浩治	林田彪	原田保夫	伴襄
平口洋	古川禎久	前田武志	牧野徹
増田優一	松谷蒼一郎	山内弘隆	脇雅史
内山田竹志	村井嘉浩	古賀誠	高松勝
岡本罔衛	由木文彦	種村均	小室俊二
齊藤紀彦	前川秀和	根岸修史	前田信弘
中野健二郎	後藤政郎		

(計62名)

## 名誉会員

河 江 芳 久      菊 川      滋      藤 野 陽 三

(計3名)

(2) 第223回理事会を令和5年6月15日、東京都千代田区「全社協・灘尾ホール」で開催、理事38名のうち出席者25名、監事2名のうち2名が出席、「会長、副会長の選定」について審議し、会長に徳山日出男、副会長に深澤淳志を選定した。なお、選定された徳山日出男は、席上、会長の就任の承諾をした。「業務執行理事の選定」について審議し、業務執行理事（総務委員長）深澤淳志、業務執行理事（経理委員長）小幡学、業務執行理事（事業委員長）石井直孝、業務執行理事（政策委員長）吉田光市、業務執行理事（調査委員長）伊藤正秀、業務執行理事（組織委員長）石川雄一、業務執行理事（編集委員長）中神陽一、業務執行理事（出版委員長）高橋知道、業務執行理事（国際委員長）石原康弘、業務執行理事（広報委員長）野田勝、業務執行理事（技術交流委員長）森昌文、業務執行理事（事務局統括）國澤典生について原案のとおり議決した。

(3) 第224回理事会を令和5年11月15日、東京都千代田区「日本道路協会会議室」で開催、理事38名のうち出席者30名、監事2名のうち1名が出席、「会員の入会」、「新年交礼会の開催」について原案どおり議決した。

なお、理事会開催の後に高松諭（国土交通省道路局国道・技術課長）を講師に「道路懇話会」を開催した。

(4) 第225回理事会を令和6年3月28日、東京都千代田区「日本道路協会会議室」で開催、理事38名のうち出席者27名、監事2名のうち2名が出席、「令和6年度事業計画書及び収支予算書並びに資金調達及び設備投資の見込み」、「令和5年度会長奨励賞対象者（案）」、「会員の入会」、及び「日本道路協会電子図書利用サービス利用規約等の承認」について原案どおり議決した。

### 3. 名誉会員等の異動

下記の異動があった。

名誉会員    澤 井 廣 之 (令和5年5月3日逝去)

名誉会員    鈴 木 道 雄 (令和5年5月27日逝去)

名誉会員    佐 藤 信 彦 (令和5年11月21日逝去)

顧 問      杓 掛 哲 男 (令和6年1月30日逝去)

#### 4. 調査・研究事業

委員会名	開催回数		審議内容
	委員会	幹事会	
交通工学委員会	1		下記図書の作成・審議等
道路構造規格小委員会	1		「道路構造令の解説と運用」改訂方針検討
路面施設SWG			「自動運行補助施設（路面施設）基準・同解説」作成に向け必要な技術的知見等の整理
交通安全小委員会			
道路標識WG			1) 「道路標識設置基準・同解説」改訂方針検討
(道路標識構造SWG)			2) 「道路標識構造便覧」改訂方針検討
防護柵WG	1		「防護柵の設置基準・同解説/ボラードの設置便覧」改訂方針検討
道路照明WG	3	5	「道路照明施設設置基準・同解説」改訂検討
橋梁委員会	2	5	下記図書の作成・審議等
性能評価・診断小委員会	8	81	1) 「道路橋示方書・同解説」・各編の改訂素案作成
品質保証小委員会	3	11	2) 「道路橋示方書便覧集（和英）」（会員向けHP公表）原案作成
			3) 「道路橋床版防水便覧」改訂原案作成
			4) 「道路橋補修・補強事例集」原案作成
			「道路橋設計便覧」原案作成
			「道路橋耐風設計便覧」改訂原案作成
			「道路橋伸縮装置便覧」改訂原案作成
舗装委員会	3	4	下記図書の作成・審議、発刊等
総括小委員会	4	31	1) 舗装設計関係指針・便覧等の改訂方針の整理
			2) 「舗装の構造に関する技術基準・同解説」改訂原案作成
舗装マネジメント小委員会			舗装のライフサイクルコスト算定方法に係る課題整理
環境・再生利用小委員会	4	14	「舗装再生便覧」（改訂版）発刊
舗装性能評価小委員会	2	7	1) 「アスファルト舗装の詳細調査・修繕設計便覧」講習会開催
			2) 指針・便覧等の改訂に向けた課題整理
舗装設計施工小委員会	2	2	1) 「アスファルト舗装の詳細調査・修繕設計便覧」講習会開催【再掲】
			2) 舗装設計施工指針、便覧の改訂課題整理
道路土工委員会	3	11	下記図書の作成・審議、発刊等
(技術資料執筆WG)		1	1) 「道路土工の基礎知識と最新技術（令和5年度版）」（新刊）発刊
(維持管理WG)	3		2) 「道路土工構造物点検必携」（改訂）発刊
(性能規程化WG)	6		3) 「道路土工構造物技術基準・同解説」改訂素案検討
トンネル委員会		1	下記図書の作成・審議等
トンネル維持管理小委員会		4	「道路トンネル維持管理便覧」改訂検討課題整理
トンネル付属施設小委員会			「道路トンネル技術基準（換気編）・同解説」改訂素案作成
トンネル設計・施工小委員会	1	9	「道路トンネル技術基準（構造編）・同解説」改訂原案作成

委員会名	開催回数		審議内容
	委員会	幹事会	
道路震災対策委員会			下記図書の作成・審議等 1) 「道路震災対策便覧（震前対策編）」改訂課題整理 2) 道路構造物の災害事前対策事例調査
道路維持修繕委員会 （事例集運営WG） （電線共同溝維持管理WG）	1 1	2	下記図書の作成・審議等 「道路管理の新技术・好事例集（HP公表）」フォローアップ 「電線共同溝点検手引き（道路局発出）」を受け、不具合事例の収集・分析

## 5. 成果の提供・普及事業

### 1) 図書（39点・33,400部）

道路技術者の一層の利便に資するため、調査委員会等の成果を踏まえ、次のとおり新刊・改訂図書を発刊した。また、既刊図書の増刷を行った。

#### (1) 新刊（1点・2,100部）

「道路土工の基礎知識と最新技術（令和5年度版）」 2,100部

#### (2) 改訂（2点・3,200部）

「舗装再生便覧（令和6年版）」 2,100部

「道路土工構造物点検必携（令和5年度版）」 1,100部

#### (3) 増刷（36点・28,100部）

「道路橋示方書・同解説Ⅴ耐震設計編（平成29年11月）」 2,000部

「車両用防護柵標準仕様・同解説改訂版」 500部

「道路土工構造技術基準・同解説」 1,000部

「道路の維持管理」 200部

「道路橋点検必携」 500部

「既設道路橋基礎の補強に関する参考資料」 100部

「アスファルト舗装の詳細調査・修繕設計便覧」 2,000部

「道路橋示方書講習会資料集」 1,000部

「道路の交通容量」 100部

「道路緑化技術基準・同解説」 300部

「透水性舗装ガイドブック2007」 200部

「舗装の環境負荷低減に関する算定ガイドブック」	300部
「舗装の構造に関する技術基準・同解説」	500部
「鋼道路橋防食便覧 改訂版」	2,000部
「落石対策便覧に関する参考資料」	200部
「道路照明施設設置基準・同解説」	500部
「道路防雪便覧」	100部
「鋼道路橋施工便覧 令和2年改訂版」	1,000部
「道路橋支承便覧 改訂版」	1,000部
「落石対策便覧（平成29年12月改訂版）」	1,000部
「路上自転車・自動二輪車等駐車場設置指針」	100部
「防護柵の設置基準・同解説／ボラードの設置便覧（令和3年3月）」	2,000部
「道路トンネル安全施工技術指針」	100部
「道路橋示方書・同解説Ⅴ耐震設計編に関する参考資料」	500部
「舗装施工便覧」	2,000部
「アスファルト舗装工事共通仕様書解説 改訂版」	200部
「立体横断施設技術基準・同解説」	300部
「杭基礎設計便覧 令和2年改訂版」	1,000部
「道路構造令の解説と運用（令和3年3月版）」	3,000部
「道路橋示方書・同解説Ⅰ共通編（平成29年11月）」	2,000部
「自転車道等の設計基準解説」	100部
「道路トンネル技術基準（構造編）・同解説」	200部
「コンクリート舗装ガイドブック 2016」	500部
「舗装の維持修繕ガイドブック 2013」	1,000部
「舗装点検要領に基づく舗装マネジメント指針」	500部
「自転車利用環境整備のためのキーポイント」	100部

(図書の販売状況)

(単位：部)

年度	期首在庫	増刷等	販売等	期末在庫
令和4年度	43,886	23,200	36,994	30,092
令和5年度	30,092	33,400	34,144	29,348

## 2) 出版図書の電子化の取組

出版図書の電子化と EC 販売及び閲覧システムの導入について検討を行い、電子書籍の購入システム「Shopify（ショッピングファイ）」と電子書籍リーダー「bookend（ブックエンド）」を連携させ、

かつ業界団体等へのアンケートも参考に利用者の利便に資するよう独自のカスタマイズを施した電子図書利用サービスを構築した。

このほか当該システムが広く知られるよう、第35回日本道路会議参加者や業界紙記者へのプレゼンテーションを積極的に行ったほか、具体的な使い方に関する説明会を各業界団体個別に実施した。

### 3) 月刊誌「道路」の発行

月刊誌「道路」は、道路に関する幅広い情報の提供を心がけ、会員ならびに読者のニーズに応えるべく道路技術や道路行政の最新動向を特集掲載した。情報誌として内容の充実を図り、令和5年4月号から令和6年3月号まで延べ97,200部を発行した。

### 4) 講習会、講演会等の開催

次のとおり出版図書に関する講習会、道路セミナー（政策編・技術編）、道路施策に関する説明会を開催した。開催に当たっては、月刊誌「道路」やメールマガジンの配信等により周知を図った。

また、参加手続きの利便性の向上等を図るため、参加費の支払いに、クレジットカード決済を導入した。

#### (1) 出版図書に関する講習会

次のとおり講習会を開催した。

##### ① アスファルト舗装の詳細調査・修繕設計便覧講習会

『アスファルト舗装の詳細調査・修繕設計便覧』の発刊に伴い、本書籍の理解と適切な運用を図るため、次のとおり開催した。

東京会場開催：令和5年7月21日（参加者186名）

オンデマンド開催 視聴期間：令和5年8月1日～10月31日（参加者252名）

##### ② 道路橋の設計・施工に関するWEB講習会

『道路橋示方書講習会資料集』の発刊に伴い、本書籍の理解と適切な運用を図るため、次のとおり開催した。

オンデマンド開催 視聴期間：令和5年11月1日～令和6年1月31日（参加者413名）

#### (2) 道路セミナー（政策編・技術編）

次のとおり道路セミナーをWEB開催した。

##### ① 政策編

会員・非会員を対象に有料にて道路政策の最新の動向や目指すべき方向等を紹介した。

## I. 世界道路のストック効果を考える

ライブ開催：令和5年8月23日（参加者38名）

オンデマンド開催：令和5年8月30日～9月30日（参加者101名）

演題 「道路の事業評価の課題と対応」

講師 一般財団法人計量計画研究所 理事兼研究本部長 毛利 雄一 氏

## II. 新たな国土形成計画について

ライブ開催：令和5年10月25日（参加者17名）

オンデマンド開催：令和5年11月6日～12月31日（参加者106名）

演題 「新たな国土形成計画について」

講師 国土交通省 国土政策局 総合計画課 国土政策企画官 中山 央己 氏

## III. WISENET2050

ライブ開催：令和6年2月19日（参加者50名）

オンデマンド開催：令和6年2月26日～3月26日（参加者149名）

演題 「WISENET2050」

講師 国土交通省 道路局 企画課 課長 沓掛 敏夫 氏

演題 「国土の転換」

講師 東京大学大学院工学系研究科 教授 羽藤 英二 氏

## ② 技術編

会員を対象に無料にて道路の技術基準を解説した。

### I. 道路技術基準の基礎

ライブ開催：令和5年5月30日（参加者146名）

オンデマンド開催：令和5年6月5日～6月30日（参加者326名）

演題 「道路技術基準の基礎（総論）」

講師 国土交通省 道路局 企画課 課長補佐 大西 良平 氏

演題 「道路幾何構造技術基準の変遷」

講師 国土技術政策総合研究所 道路交通研究部道路研究室 主任研究官 河本 直志 氏

演題 「道路橋技術基準の変遷」

講師 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部橋梁研究室 主任研究官 岡田 太賀雄 氏

演題 「道路トンネル技術基準の変遷」

講師 土木研究所 トンネルチーム上席研究員 日下 敦 氏

演題 「舗装技術基準の変遷」

講師 土木研究所 舗装チーム上席研究員 藪 雅行 氏

## II. 道路土工構造物に関する基礎と現場実例から学ぶノウハウ

ライブ開催：令和5年9月27日（参加者165名）

オンデマンド開催：令和5年10月2日～10月31日（参加者383名）

演題 「道路土工構造物等の技術基準類の体系」

講師 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長 渡邊 一弘 氏

演題 「道路土工構造物技術基準の基礎知識」

講師 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長 渡邊 一弘 氏

演題 「道路土工構造物点検必携の概要と道路防災点検」

講師 土木研究所 地質地盤研究グループ 施工技術チーム 上席研究員 間瀬 利明 氏

演題 「近年の道路土工構造物等の被災事例と教訓」

講師 土木研究所 地質地盤研究グループ 施工技術チーム 上席研究員 間瀬 利明 氏

## III. 舗装の基礎とこれからの舗装マネジメント

ライブ開催：令和5年12月13日（参加者141名）

オンデマンド開催：令和5年12月19日～令和6年1月19日（参加者354名）

演題 「舗装とは」

講師 土木研究所 舗装チーム上席研究員 藪 雅行 氏

演題 「舗装の基礎（設計・施工）」

講師 国土技術政策総合研究所 道路構造物研究部 道路基盤研究室長 渡邊 一弘 氏

演題 「舗装の基礎（維持管理）」

講師 土木研究所 舗装チーム上席研究員 藪 雅行 氏

演題 「これからの舗装マネジメント」

講師 国土交通省 道路局 国道・技術課 道路メンテナンス企画室長 和田 賢哉 氏

### (3) 道路施策に関する説明会

次のとおり説明会をWEB開催した。

#### ① 道路分野における環境に関する取組の動向

オンデマンド開催：令和5年3月28日～4月28日（参加者514名）

演題 「道路分野における環境に関する取組の動向」

講師 国土交通省 道路局 環境安全・防災課 柴山課長補佐

#### ② 道路土工構造物点検要領について

ライブ開催：令和5年4月26日（参加者375名）

オンデマンド開催：令和5年5月8日～6月8日（参加者670名）

演題 「道路土工構造物点検要領について」

講師 国土交通省 道路局 国道・技術課 技術企画室 久富課長補佐

- ③ レベル4自動運転の実現に向けたインフラ支援  
ライブ開催：令和5年4月26日（参加者310名）  
オンデマンド開催：令和5年5月30日～6月30日（参加者611名）  
演題 「レベル4自動運転の実現に向けたインフラ支援」  
講師 国土交通省 道路局 道路交通管理課 ITS推進室 田胡課長補佐
- ④ 道路防災対策に関する説明会  
ライブ開催：令和5年6月22日（参加者190名）  
オンデマンド開催：令和5年6月28日～7月28日（参加者480名）  
演題 「道路防災対策に関する説明会」  
講師 国土交通省 道路局 環境安全・防災課 道路防災対策室 竹島企画専門官
- ⑤ 道路交通安全施策に関する説明会  
ライブ開催：令和5年7月25日（参加者136名）  
オンデマンド開催：令和5年8月1日～8月31日（参加者368名）  
演題 「道路交通安全施策に関する説明会」  
講師 国土交通省 道路局 環境安全・防災課 道路交通安全対策室 鈴木企画専門官
- ⑥ 首都直下地震を想定した道路啓開の実効性を高める取り組み  
ライブ開催：令和5年8月31日（参加者106名）  
オンデマンド開催：令和5年9月6日～10月6日（参加者262名）  
演題 「首都直下地震を想定した道路啓開の実効性を高める取り組み」  
講師 国土交通省 関東地方整備局 道路部 粕谷道路保全企画官
- ⑦ 令和6年度道路関係予算概算要求説明会  
ライブ開催：令和5年9月14日（参加者257名）  
オンデマンド開催：令和5年9月20日～10月20日（参加者480名）  
講師 国土交通省 道路局 企画課 沓掛課長
- ⑧ 自転車施策に関する説明会  
ライブ開催：令和5年10月19日（参加者226名）  
オンデマンド開催：令和5年10月24日～11月24日（参加者433名）  
演題 「自転車施策に関する説明会」  
講師 国土交通省 道路局 参事官（自転車活用推進）付 種蔵自転車活用推進官

⑨ 道路メンテナンスに関する説明会

ライブ開催：令和5年11月28日（参加者346名）

オンデマンド開催：令和5年12月4日～令和6年1月4日（参加者612名）

演題 「道路メンテナンスの現状（2巡目の公表）」

講師 国土交通省 道路局 国道・技術課 竹田課長補佐

演題 「新技術導入とデジタル化・DXに向けた取り組み」

講師 国土交通省 道路局 国道・技術課 舟波企画専門官

⑩ 道路分野におけるカーボンニュートラルへの貢献

ライブ開催：令和6年1月18日（参加者242名）

オンデマンド開催：令和6年1月24日～2月24日（参加者560名）

演題 「道路分野におけるカーボンニュートラルへの貢献」

講師 国土交通省 道路局 環境安全・防災課 柴山課長補佐

⑪ 令和6年度道路関係予算説明会

ライブ開催：令和6年2月14日（参加者290名）

オンデマンド開催：令和6年2月20日～3月20日（参加者504名）

講師 国土交通省 道路局 企画課 沓掛課長

⑫ 無電柱化に関する説明会

ライブ開催：令和6年3月25日（参加者313名）

オンデマンド開催：令和6年4月1日～4月30日（参加者493名）※3月31日時点

演題 「無電柱化推進に向けた最近の状況」

講師 国土交通省 道路局 環境安全・防災課 山岡課長補佐

## 5) 第35回日本道路会議の開催

令和5年11月1日(水)、11月2日(木)の2日間、東京都千代田区都市センターホテルにおいて、第35回日本道路会議を現地とWEBの併用で開催し、約2,500名が参加した。

今回の道路会議は、「頻発する災害から国民を守り、次世代の多様な価値に応える道路～国土強靱化10年、DX、GX時代からその先へ～」をテーマに、最新事例や研究成果の共有、道路の将来展望への基調講演及びパネルディスカッション、一部の論文発表について集中討議セッションを行った。

初日は、日本道路協会会長による開会挨拶、実行委員長による会議開催経過報告に続き、国土交通省道路局長及び日本道路協会会長の総括基調講演が行われ、道路行政全体の現状及び将来像が紹介された。

午後からは、「道路からのカーボンニュートラルへの貢献」「次世代道路」「新たなモビリティを活用するためのインフラ側の貢献」の3つの基調講演・パネルディスカッションが行われ、道路交通の電力化に向けた対応方策や高規格道路の多様な役割や効果の共有、自動運転の実現に向けた道路の果たすべき役割等について議論された。

2日目は「海外市場の変化を踏まえた道路インフラの国際展開について」「防災・減災、国土強靱化の在り方」「道路計画論の再構築」の3つの基調講演・パネルディスカッションが行われ、有識者や行政、関連企業等を交えて幅広い議論が行われた。

また、2日間で口頭発表576編、ポスターセッション発表37編の論文発表が行われた。技術的課題の多様化を反映し、産・学・官それぞれの立場から、様々な視点に立った広範な内容の発表、活発な質疑応答、意見交換が実施された。毎回好評である集中討議セッションがすべての部門で行われ、先進的な事例や現場の取り組み等の発表、参加者を交えた議論や意見交換が行われた。

さらに、道路施策を実践している現場の経験・知見を共有することを目的とした「事例報告」では、181編もの有益な現場の取り組みが発表された。

## 6) 道路広報

- (1) 道路への理解と普及のため、国民参加型広報への協力として「道路ふれあい月間」等への協賛を行うなど、道路整備に対するニーズの把握と理解の普及に向けた広報啓発活動を実施した。
- (2) 道路関係資料等の保存・活用システムの構築に向け、今後必要なデータを適宜利用できる環境整備を実施した。
- (3) 最新の技術・情報提供を行うため、新たにホームページの構築を行った。

## 6. 国際協力事業

道路関連産業や道路技術の海外展開を支援する道路協会の機能強化および、協会会員への国際活動成果の還元を運営方針として、以下の事業を実施した。

### 1) PIARC (World Road Association : 世界道路協会) 関連事業

#### (1) 実行委員会・総会

令和5年4月および9月に開催された実行委員会に、PIARC 分科会長の平井節生氏ほか関係者が出席し、各国参加者と情報交換、意見交換をおこなった。

令和5年9月30日にチェコ・プラハにて開催された総会に、名誉会長の菊川氏ほか関係者が出席し、各国参加者と情報交換、意見交換を行った。本総会において菊川氏がPIARC 名誉副会長に選出された。

(2) 道路橋に関する国際ワークショップの開催

令和5年5月11日に神戸市ラッセホールにおいて、「道路橋に関する国際ワークショップ」を開催した。

(3) 第27回世界道路会議（PIARC プラハ大会）

令和5年10月2日から6日の間にチェコ共和国・プラハ市で開催された第27回世界道路会議への日本の参加を促すべく大会準備委員会を設置し、準備とりまとめを実施した。大会には国土交通省をはじめとし民間、大学等から300名余りが参加した。技術展示会においては、当協会がとりまとめ役となって官民38の企業・団体が共同で日本パビリオンを出展し、我が国の道路施策、道路技術を紹介した。

(4) 技術委員会

PIARC 技術委員会は4年毎のタームで活動を行っている。令和2年に開始したタームは令和5年12月をもって活動を終了した。本タームには道路および道路交通に関する25の技術委員会等が設置され、我が国からは17の委員会等に参画し道路技術に関する情報交換、共同研究等を行った。前述のプラハ大会では4年間の活動の集大成として多くの技術セッションが開催され、当協会からも委員を派遣した。

(5) 技術委員会活動の月刊誌「道路」掲載

国内におけるPIARC活動成果の共有および委員会活動の活性化を図るため、技術委員会活動報告を月刊誌「道路」へ継続的に掲載した。

(6) PIARC スペシャルプロジェクト「道路分野のAI」への協力

PIARC スペシャルプロジェクト「道路分野のAI」へ資金協力をを行い、プロジェクト監督チームにPIARC分科会委員を参加させた。

(7) テクニカルレポートの国内案内

技術委員会の成果物であるテクニカルレポートを道路協会会員ほか、国内関係者へ積極的に紹介した。

(8) 新タームにおける技術委員会

2024～2027年の新タームにおける技術委員会の体制が確定し、4つの戦略テーマに基づいて22の技術委員会等が設置された。我が国からは18の技術委員会等に委員を選出し、4年間の活動計画を検討するキックオフミーティングに委員を派遣した。

(9) PIARC 本部事務局への技術者派遣

PIARC 本部事務局の要請に基づき、西日本高速道路株式会社および東日本高速道路会社所属の技術者を各1名テクニカルアドバイザーとして派遣した。

2) IRF（International Road Federation：国際道路連盟）関連事業

(1) IRF 総会・理事会

令和5年11月14日に米国・フェニックスにて開催されたIRF総会・理事会に当協会を代表してIRF分科会長の神長耕二氏が出席し、各国参加者と情報交換、意見交換をおこなっ

た。

(2) IRF グローバル会議

令和5年11月14日から11月17日の間に米国・フェニックスにて開催されたIRFグローバル会議に神長氏ほか関係者が出席し、各国参加者と情報交換、意見交換をおこなった。

(3) 令和5年度奨学生の推薦

関係機関からの賛助を得て、令和5年度IRF奨学生1名の推薦を行った。

(4) 令和6年度IRF奨学生の決定

令和6年度IRF奨学生を募集し、選考の結果2名の推薦をおこなうことを決定した。

3) REAAA (Road Engineering Association of Asia and Australasia :

アジア・オーストラレイシア道路技術協会) 関連事業

(1) 評議員会

令和5年5月9日にシンガポールにて開催された第119回評議員会、同年8月24日にインドネシア・ラブアンバジョで開催された第120回評議員会に、当協会を代表してREAAA分科会長の橋場克司氏ほか関係者が出席し、各国の関係者と情報交換および意見交換を行った。

(2) REAAA 創立50周年記念道路会議

令和5年8月25日～27日の間にインドネシア・ラブアンバジョで開催されたREAAA創立50周年記念道路会議に、橋場氏ほか関係者が出席し、各国の関係者と情報交換および意見交換を行った。

(3) 技術委員会

技術委員会舗装小委員会の活動に国内関係者が参加し、調査、分析等を実施した。

(4) 若手技術者会議

若手技術者会議に国内関係者が参加し、情報交換、意見交換をおこなった。

4) 海外留学生研究援助

令和5年度海外留学生援助金の給付

「海外道路研究基金」による令和5年度援助金支給者募集し、選考の結果、1名に給付した。

5) 国際アスファルト舗装学会活動等

(1) コロナ禍のため、WEB会議による意見交換等を行った。

## 7. 表彰その他事業

### 1) 道路功労者の表彰

道路整備事業の推進ならびに道路愛護・美化保全等に尽力された団体および個人に対して、各都道府県・政令指定市、国土交通省各地方整備局、北海道開発局、沖縄総合事務局、各高速道路会社、一般社団法人日本道路建設業協会、一般社団法人プレストレスト・コンクリート建設業協会および一般社団法人日本橋梁建設協会の推薦を得て、92 団体ならびに個人 55 名の方々に対し、各推薦団体を通じ、8 月 10 日「道の日」に合わせて表彰した。

### 2) 会長奨励賞の表彰

自らの創意工夫を加え、その後の業務遂行に多大な成果をあげた者を表彰し、道路技術の進展に寄与することを目的とし、3 件を決定し、表彰することとした。

### 3) 公益事業協力

#### (1) 「道路技術勉強会」の開催

一般社団法人建設コンサルタント協会近畿支部との共催により「道路技術勉強会」を開催した。

##### ① 道路の維持管理・老朽化対策に関する最近の話題 他

開催日時：令和 5 年 5 月 10 日（参加者 75 名）

開催場所：大阪市

##### ② 人にやさしい道づくり 他

開催日時：令和 5 年 8 月 8 日（参加者 79 名）

開催場所：大阪市

##### ③ 国土幹線道路部会の中間報告 他

開催日時：令和 5 年 11 月 25 日（参加者 80 名）

開催場所：大阪市

##### ④ 大規模地震災害に備えた道路の防災対策 他

開催日時：令和 6 年 2 月 7 日（参加者 71 名）

開催場所：大阪市

(2) 内閣府等の主催により実施された 2023 年「春及び秋の全国交通安全運動」に協賛を行った。

## 8. 組織の強化

地方ブロック担当参与の協力を得て、地方自治体幹部との意見交換を関東ブロック（茨城県、栃木県）、東北ブロック（北海道・東北6県）、中国ブロック（中国5県2市、島根県内16市町村）で実施し、協会業務の最新情報を提供するとともに新規加入への働きかけを実施した。

## 事業報告の附属明細書

「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則第 34 条第 3 項」に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」がないため、事業報告の附属明細書は作成していない。